

立命館人間科学研究

第10号

目 次

■研究論文

概念的基準の介在による判断の歪み

一味に関する二つの実験事例—

松田 隆夫 (1)

コミュニティワーカーとしてのボランティアコーディネーター：

業務遂行上の困難性についての一考察

桜井 政成 (13)

■研究ノート

心理学は「科学的」でなければならないのか？：

質的心理学と実験心理学の対立と社会との関係を軸に

荒川 歩 (29)

手話通訳者の健康被害とその援助

—ダイヤモンド・コントロール・セオリーの援用による示唆と今後の課題—

吉岡 昌子 (37)

日本語版MTRR/MTRR-I 導入のための予備的研究

トラウマの影響・回復・レジリエンスの多次元的査定

村本 邦子 (49)

現代日本文学と「萌え」

山本 岳志 (61)

■実践報告

知的に障害のある生徒におけるシークエンス反応を利用した「数—ドット」関係の形成

坂本 真紀・武藤 崇 (73)

高次脳機能障害の生徒に対する支援

—算数文章題を図式化することによる学習効果について—

中山 英次・藤 信子 (85)

オレンジ辞書—専門用語のための共同制作型Webデータベース—

関本 正子・溝口 裕也・宮浦 崇・望月 昭 (101)

失語症児における教示要求表現の形成

丹生 卓也・安井 美鈴・望月 昭 (111)